

ジャー炊飯器

掲載製品

電気炊飯器を掲載しています。電子回路を有さないもの、最大炊飯容量が0.54L未満のもの、業務用のものは対象外です。

区分

加熱方式、最大炊飯容量によって区分しています。

I H式 3合～5.5合未満	I H式 5.5合～8合未満
I H式 8合～10合未満	I H式 10合～
マイコン式 3合～5.5合未満	マイコン式 5.5合～8合未満
マイコン式 8合～10合未満	マイコン式 10合～

I H式: I H式は電磁誘導加熱方式ともいい、内釜自体が発熱する方式

マイコン式: 直接加熱方式で、ヒーターの熱によって内釜を加熱する方式です。

一覧表の各種表示について

● 目標年度

トップランナー基準を達成すべき年度で、ジャー炊飯器の目標年度は2008年度です。

● ラベル印刷

省エネルギーラベル制度、目安年間電気代を表示した省エネルギーラベル（簡易版ラベル）を印刷できます。

● 省エネルギーラベル制度

省エネ法で定めた省エネ性能の向上を促すための目標基準（トップランナー基準）を達成しているかどうかをラベル（省エネルギーラベル）に表示するものです。

● 省エネ性マーク

トップランナー基準を達成した（省エネ基準達成率100%以上）製品についてはグリーンのマーク（●e）が表示され、未達成（省エネ基準達成率100%未満）の製品についてはオレンジ色のマーク（○e）が表示されます。

● 省エネ基準達成率(%)

その製品が属するトップランナー基準の区分の目標基準値を、どの程度達成しているかを%で示します。ジャー炊飯器は、加熱方式、最大炊飯容量により分けられた区分ごとに、目標基準値算定式が設定されています。

● エネルギー消費効率

機器によって表示語が異なり、各機器毎に定められています。ジャー炊飯器は年間消費電力量（kWh/年）で表します。

● 年間消費電力量(kWh/年)

炊飯時、保温時、タイマー予約時及び待機時それぞれの消費電力量を測定し、家庭における最大炊飯容量毎の使用実態をもとに算出して合計した値を、有効数字3桁以上で表示しています。

年間消費電力量(kWh/年) = 炊飯時の年間消費電力量 + 保温時の年間消費電力量 + タイマー予約時の年間消費電力量 + 年間待機時消費電力量

※次ページのQ&Aも参照してください。

● 1年間の目安電気料金(円)

1kWhあたり27円（税込）（公益社団法人 全国家庭電気製品公正取引協議会 新電力料金目安単価）として算出した目安電気料金を有効数字3桁で表示しています。各家庭の使用実態や電力会社等によって異なります。

$$\text{1年間の目安電気料金(円)} = \text{期間消費電力量(kWh)} \times \mathbf{27} \text{ (円/kWh)}$$

● 最大炊飯容量(L)

設計上可能な最大炊飯量です。1合は0.18Lです。

● 炊飯時消費電力量(Wh/回)

通常炊飯コースの炊飯開始から炊飯終了までの消費電力量です。

● 保温時消費電力量(Wh/h)

炊飯終了後の1時間あたりの保温時の消費電力量です。

● **タイマー予約時消費電力量(Wh/h)**

炊飯器に内釜を入れて（米を入れない）、炊飯予約のタイマーを使用した状態での1時間あたりの消費電力量です。

● **待機時消費電力量(Wh/h)**

炊飯器に内釜を入れて（米を入れない）、コンセントを差込んだ状態での1時間あたりの消費電力量です。

● **無洗米**

無洗米に合わせた水加減や米の浸水時間で炊くことができます。

● **早炊き**

通常の炊飯の半分ぐらいの時間で炊くことができます。

● **本サイト掲載日**

製品の登録日を掲載し、機種名(型番)の前に「New」を付けて、掲載日より1ヶ月表示します。並べ替え機能で新着情報を上から順に並べ替えることができます。

● **更新日**

製品情報に修正が入った際の更新日を掲載し、機種名(型番)の前に「Update」を付けて、更新日より1ヶ月表示します。ただし、本サイト掲載日から1ヶ月以内の更新は、「New」が優先されます。並べ替え機能で更新日順に並べ替えることができます。

● **JANコード**

国際的な共通商品コードです。13桁の数字で表示し、その商品がどこの国の、どこの企業の、どの商品であるかを識別できます。

Q&A

ジャー炊飯器の年間消費電力量は、具体的にどのように算出するのですか？

▶ 1回あたりの炊飯時消費電力量、1時間あたりの保温時消費電力量、1時間あたりのタイマー予約時消費電力量、1時間あたりの待機時消費電力量をそれぞれ測定し、アンケート調査（一般財団法人 省エネルギーセンター実施「炊飯器の使用実態アンケート調査」）により求めた年間炊飯回数等をもとに算出します。

■ **最大炊飯容量毎の平均的な使用実態**

最大炊飯容量(合)	炊飯回数(回/年)	1回あたりの炊飯(保温) 精米質量(g)	保温時間(時間/年)	タイマー予約時間(時間/年)	待機時間(時間/年)
3合以上5.5合未満	290	300(2合相当)	920	750	2,760
5.5合以上8合未満	340	450(3合相当)	1,540	1,190	2,990
8合以上10合未満	390	600(4合相当)	2,180	1,880	1,210
10合以上	350		2,420	1,000	2,150

$$\text{年間消費電力量 (kWh/年)} = \text{炊飯時の年間消費電力量 (kWh/年)} + \text{保温時の年間消費電力量 (kWh/年)} + \text{タイマー予約時の年間消費電力量 (kWh/年)} + \text{年間待機時消費電力量 (kWh/年)}$$

最大炊飯容量 3合以上5.5合未満の場合の年間消費電力量 (kWh/年) = $(290 \times A + 920 \times B + 750 \times C + 2760 \times D) / 1000$
 最大炊飯容量 5.5合以上8合未満の場合の年間消費電力量 (kWh/年) = $(340 \times A + 1540 \times B + 1190 \times C + 2990 \times D) / 1000$
 最大炊飯容量 8合以上10合未満の場合の年間消費電力量 (kWh/年) = $(390 \times A + 2180 \times B + 1880 \times C + 1210 \times D) / 1000$
 最大炊飯容量 10合以上の場合の年間消費電力量 (kWh/年) = $(350 \times A + 2420 \times B + 1000 \times C + 2150 \times D) / 1000$

A:1回あたりの炊飯時消費電力量 (Wh/回)
 B:1時間あたりの保温時消費電力量 (Wh/h)
 C:1時間あたりのタイマー予約時消費電力量 (Wh/h)
 D:1時間あたりの待機時消費電力量 (Wh/h)

ジャー炊飯器について年間消費電力量が同じなのに、省エネ基準達成率が異なる製品があるのは、なぜですか？

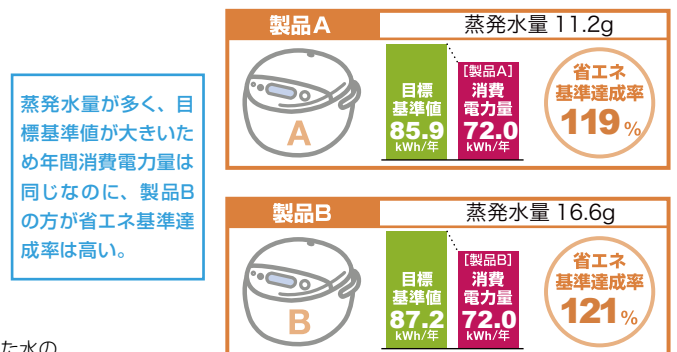
▶ 炊飯器の目標基準値は、加熱方式、最大炊飯容量により分けられた区分毎に定められております。またご飯の食味に影響する水加減、火加減、また、圧力・スチームなど炊き方の違いによって不公平にならないように各製品の目標基準値を蒸発水量で補正しております。

例えば、IH方式・最大炊飯容量0.99L以上1.44L未満の炊飯器の場合、次のような目標基準値算定式が設定されており、蒸発水量が多いほど目標基準値が大きくなります。そのため、同じ年間消費電力量でも蒸発水量によって、省エネ基準達成率が異なります。

$$\text{目標基準値算定式} = 0.244 \times \text{蒸発水量 (g)} + 83.2$$

※ 蒸発水量とは、1回あたりの炊飯器消費電力量の測定の際に炊飯器体外に放出した水の質量とし、炊飯器消費電力量の全ての測定の際の値の平均値です。

■ **製品A、B (IH式最大炊飯容量1.0L 消費電力量72kWh/年) の場合**



上手な選び方

1回の炊飯容量をもとに、
家庭に合った機種を選ぶことが大切です。

年間消費電力量

炊飯器を家庭での平均的な方法で使用したときの1年間に消費する電力量です。年間消費電力量が小さいほど、目安となる年間電気料金が安くなります。1回の炊飯時消費電力量の他に、保温やタイマー予約を利用することが多い場合は、保温時消費電力量やタイマー予約時消費電力量にも注目しましょう。

※「平均的な方法」とは使用時間等の目安です。

IH5.5合以上8号未満の場合

炊飯回数	340回/年
保温時間	1,540時間/年 約4.5時間(1日)
タイマー予約時間	1,190時間/年 約3.5時間(1日)
待機時間	2,990時間/年 約8.8時間(1日)

出典：ジャー炊飯器の性能の向上に関する製造事業者等の判断の基準等：エネルギー消費効率算定式の係数

省エネ基準達成率

加熱方式や最大炊飯容量、蒸発水量が同じならば、省エネ基準達成率が高いほど省エネ性が優れ、年間電気料金も安くなります。ジャー炊飯器は、加熱方式、最大炊飯容量により分けられた区分毎に、目標基準値算定式が設定されています。

最大炊飯容量

設計上可能な最大炊飯量をいいます。0.54Lは3合、1Lは5.5合、1.44Lは8合、1.8Lは10合（1升）まで炊くことができます。（1合は0.18L）

加熱方式

- IH式…電磁誘導加熱方式ともいいます。コイルによる磁力線のはたらきで、内釜自体が発熱する方式で、高火力で一気に加熱することができます（心臓用ペースメーカーをお使いの方は、専門医師とご相談下さい）。
- マイコン式…ヒーターの熱によって内釜を加熱する方式（直接加熱方式）です。IH式以外のマイコン制御のものをいいます。

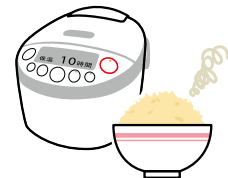
機能

- 無洗米等…無洗米に合わせた水加減や米の浸水時間で炊くことができます。その他に、玄米、炊き込み御飯、おこわ、おかゆ等、炊き上げるものに適した炊き方ができるメニューがついているものがあります。
- 早炊き…通常の炊飯の半分ぐらいの時間で炊くことができます。

上手な使い方

なるべく保温時間を短くすることが一番の省エネになります。

長く保温をしないようにしましょう。
電力を消費し、風味も落ちます。
約7～8時間以上保温するなら、2回に分けて炊いた方がお得になります。
※製品によって、炊飯時消費電力量や保温時消費電力量が異なりますので、時間も異なります。



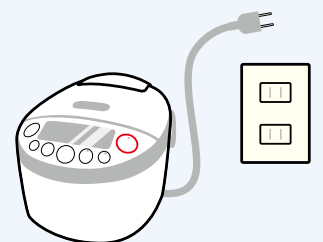
保温時間を短くするには

- まとめて炊いて冷凍保存しましょう。
- 食べる時間に合わせて炊き上がるように、タイマー予約を上手に使いましょう。

待機時消費電力量を減らしましょう

使わないときは、電源プラグを抜きましょう。

（電源プラグをコンセントに差し込んだままでも電力を消費します。）



※「家庭の省エネ徹底ガイド」のデータを引用。